

2008年3月17日
MR/J08/08



**UNITED NATIONS
UNIVERSITY**

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京都渋谷区神宮前 5-53-70

Tel.: +81-3-5467-1212
Fax: +81-3-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: <http://www.unu.edu/>

メディア用原稿
非公式記録

国連大学、外務省共催

平和構築シンポジウム 3月24日(月)、25日(火)

イベント: 東京平和構築シンポジウム 2008
テーマ: 「アジアの経験と知恵を世界の平和構築へ」
日時: 2008年3月24日(月)、25日(火)
場所: 国連大学本部ビル(渋谷区)
共催: 外務省(MOFA)、国連大学(UNU)

背景

- 平和構築は、国際社会の大きな課題である。2007年9月、日本政府は、ASEAN、アジア諸国との協力および、先進国、国際機関、そして研修組織の支援のもと、広島でアジアにおける平和構築の担い手となる人材育成プログラムをパイロット版として開始。本「平和構築分野の人材育成のためのパイロット事業」の日本人・アジア人の第一期研修員は、昨年9月からの広島での国内研修、そして平和構築の現場での海外実務研修を経て、今月(3月)に卒業する。
- 日本は、昨年6月より国連平和構築委員会の議長を務めており、本年5月の第4回アフリカ開発会議、7月のG8北海道洞爺湖サミットでも、平和構築はその他の地球規模の課題とともに、これらの会議でも取り上げられる見込み。
- 本シンポジウムでは、アジアや他の地域で活躍する平和構築に携わる実務家や学者による知見を平和構築の現場に生かすべく、意見交換を行う。アジアの視点に立った平和構築活動および地域や国際社会レベルでのネットワーク構築についても話し合われる。

本シンポジウムについて

- 第1日(24日(月))、終日(午前9時30分から午後5時40分まで)エリザベスローズ国際会議場にて開催。第1部は、「アジアにおける平和構築の経験-現場の声に耳を傾ける」と題し、カンボジア、東ティモールについて、また、第2部では、「平和構築におけるアジアの貢献-現場のベストプラクティスを共有する」と題し、「国家建設とガバナンス-選挙を超えて」と「コミュニティ開発と人間の安全保障-ギャップ問題に取り組む」の二つのセッションを行う。
- 第2日(25日(火))午前(午前9時30分から午後1時まで)は、ウ・タント国際会議場にて、「世界の平和構築へのアジアの貢献を推進するため」と題して、高村外務大臣(調整中)、スリン ASEAN 事務総長、大島 JICA 副理事長による基調講演に続き、「アジアから世界の平和構築に向けて:今後の取組」と題した総括セッションを開催する予定。
- 日英同時通訳あり。
- 25日(火)午後(午後2時から午後6時)には、国連大学が中心となり、国連の人道機関による平和構築関連の活動を紹介するイベント「国連大学オープンキャンパス」を実施。平和構築に関するシンポジウム(平和構築の活動紹介や身近でできる平和構築の提言等)、人材育成のためのパイロット事業の研修生の紹介、キャリア・セミナー、その他、若者層に向けた多彩な参加型イベントを予定している。

取材をご希望される方は、国連大学広報部の谷野(やの)までご連絡ください。(電話:03-5467-1311、Eメール: media@unu.edu)